



山形県木材産業協同組合

〒990-2473 山形市松栄 1-5-41
 TEL.023-666-4800 FAX.023-646-8699
 URL:http://www.mokusankyo.jp
 E-mail:yamawood@mokusankyo.com

目次

- 1. 第28回林業まつり実行委員会開催！
- 2. H30 県地域材利用拡大連携会議開催！
- 3. 木と住まいの大博覧会！夢メッセ
- 4. 第4回林業労働者安全大会開催！
- 5. 西日本豪雨災害概要報告!!
- 6. 東北地区需給情報連絡協議会開催！



1 第28回山形県林業まつり実行委員会開催!!

7月20日(金)山形県村山総合支庁2F講堂にて、第28回山形県林業まつり実行委員会(事務局:木産協)が細野武司委員長ほか委員等33名の出席で開催された。

会議では、昨年度まつりの反省点の確認や今年度の対応策などを説明した後、今年度も山形県農林水産祭のイベントとして、秋の食彩まつりと共催し、開催日を10月13日(土)から14日(日)とする案が承認された。主催者は、今年も山形県林業まつり実行委員会、山形県、天童市、山形県森林協会、山形県森林組合連合会、山形県木材産業協同組合、(財)山形県みどり推進機構、やまがた県産木材利用センターの8団体が共催する。

大きなイベント変更では、人気の軸組建前餅撒きが子ども上棟式(小学生までの餅撒き)



となり、大人は見学のみで参加できないこととした。また、天童市が市制施行60周年ということで、同日開催のイベントに全職員が派遣されることから、人気の幼児積木競争等の開催が危ぶまれたが、県立農林大学校林業経営学科の学生から応援いただくこととなった。

その他、当日のモンティディオの試合は、アウェイでジェフユナイテッド千葉との試合となっており重ならない予定。

2 H30 山形県地域材利用拡大連携協議会開催!!

7月26日(木)山形国際ホテル5F朝日の間にて、平成30年度山形県地域材利用拡大連携協議会(事務局:木産協)が開催された。

協議会委員・行政アドバイザー等14名から、出席いただいた。協議の中で今年度は、JAS無垢材の普及推進がテーマであること、林業成長産業化事業の一貫事業であることが説明された。JAS構造材に直接支援する事業等の説明会の実施状況や利用拡大宣言事業の登録事業者が、県内で9社になったことが報告された。その他、今年度普及活動や収支予算計画等が原案どおり承認された。次回は、2月中旬に開催される。



3 木と住まいの大博覧会開催!! (夢メッセみやぎ)



7月7～8日仙台市宮城野区の夢メッセみやぎを会場に「木と住まいの大博覧会」併催行事「耐震博」(主催:木と住まいの研究協会、ナイス(株)等)が入場者数1万8千人を数え、盛大に開催された。本県ブースでは、木産協の県産スギ積み木コーナーや県広葉樹利用拡大協議会(フローリング・壁材等)、桐井製作所(桐材米ひつ、小物入れ等)、(株)沼澤工務店(軸組実大モデル)、杉山木工(無垢音等木工品)、家具工房モク(テーブル・イス等)、山本製作所(ペレットストーブ)、東北クネット(階段手すり)、匠(ミニ盆栽等)などが出展し、山形県の木製品等の技術と品質をPRできた。二日間とも家族連れが多く訪れ、けん玉遊びや積み木コーナーのほか、木製品・木工品等を興味深く見入っていた。今年度主催者からは、ディスプレイ銅賞を受賞しました。また、同日隣接する会議等では、「建築物への木材活用シンポジウム」が開催され、東北森林管理局長小島孝文氏が基調講演を行い、東京都市大学の橋好光教授や東京大学有馬孝禮名誉教授、協和木材(株)佐川広興社長、南三陸町建設課三浦孝課長、ナイス(株)平田恒一郎社長らがパネリストとなり、「サステナブルな木造建築の新たな潮流に向けて」と題してトークセッションを行った。



4 第4回県林業労働安全大会開催!!



7月5日、「第4回林業者労働安全大会」が鶴岡市の鶴岡第一ホテルで木産協素材生産部会を中心に加盟事業所から約130名を結集し盛大に開催され、労働災害防止への機運を高めた。

安全祈願に続き、阿部理事長が主催者あいさつの中で、昨年の林業関係労働災害は8件で前年の21件から大幅に減少したことや昨年12月と今年の1月に続けて2件の死亡労働災害事故が発生したことを報告し、「悲惨な死亡災害は決して起こしてはならない。安全な林業労働に一致団結し無事故への決意を共有しよう」と呼びかけた。

続いて、山形労働局地方産業安全専門官山本信孝氏が「林業労働災害の防止について」と題し、現場では、携帯電話が通じる場所をしっかりと確認することや一人一人が安全意識を高めることが重要と講演した。また、庄内森林管理署の木村和久署長が「林業・木材産業の動向について」と題して講話した。

最後に、本年度安全スローガンの「手を抜くな作業手順と基本動作」「健診で増える安心減るリスク」を参加者全員で唱和した。



5 西日本地区7月豪雨災害被害状況について

このたびの豪雨災害等で亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

林野庁から、被害状況等についてその都度最新情報が報告されております。6月28日以降、発達した梅雨前線は、台風7号の通過後、南下して活発化し、岐阜県、岡山県、広島県、愛媛県、福岡県等において記録的な大雨を降らせ、各地で甚大な被害が報告されている。なお、今回の豪雨について、気象庁は7月9日「平成30年7月豪雨」と名称を定めたところです。引き続き山地災害への嚴重な警戒が必要な状況にある。主な24時間降水量(アメダス観測値)7月7日15時現在は、602.5mm高知県本山町本山、472.0mm岐阜県郡上市ひるがの、422.5mm佐賀県佐賀市北山、392.5mm福岡県添田町添田、347.5mm山口県岩国市玖珂、347.0mm愛媛県西予市宇和、334.5mm広島県東広島市志和、320.5mm京都府宮津市宮津が300mm越えの豪雨。

被害状況は、人的被害死者215名(広島県104人、岡山県64人、愛媛県26人、京都府5人、福岡県4人等)行方不明者14人(広島県10人、岡山県3人、奈良県1人)となっている。

林野関係被害では、林地荒廃586か所、治山施設39か所、林道施設3,733か所、木材加工施設30か所、特用林産施設10か所等で被害額合計39,029百万円にのぼっている。まだまだ調査が続いており、被害額が大幅に増加することになる見込みである。

本県からも自治体中心の応援部隊が派遣されることになっている。



6 東北地区需給情報連絡協議会開催

7月24日盛岡市ホテルメトロポリタン盛岡にて「平成30年度第1回国産材の安定供給体制の構築に向けた東北地区需給情報連絡協議会」が、林野庁、東北森林管理局、各県林務担当、林業関係中央団体、秋田県立大学、岩手大学、森総研東北支所、業界(素材生産、県森連、木材流通、製材、県木連、合板、集成材、チップ、バイオマス発電、製紙、苗木)約70名が参加し、意見交換した。

最近の林野行政情報及び原木等の需給情報の報告があり、その後、各県や各団体から情報提供があった。今回は指名で山形県木産協が発言の機会をいただき、出席した専務が山形県内の流通動向等について報告した。特に山形県の木質エネルギー分野(発電)における今後の原木状況について座長や事務局が興味を示した。山形県内8か所の木質バイオマス発電所配置計画には強い行政指導が必要ではなかったか。県庁内でエネルギー部門と農林部門の連携が取れているのか等の質問がでた。県農林水産部林業振興課の堀米主幹が会議に同席しており、当時の県の考えを説明した。

全体の課題として、全国的に原木が不足している状況が続いている。高性能林業機械や担い手不足も指摘されている。バイオマス関連分野での需要の急増が見込まれる中、喫緊の課題であり、価格面も含め最低でも情報の共有が必要となっている。

第2回東北地区需給情報連絡協議会は11月上旬頃開催予定とした。

7 シリーズ森林・林業白書 (第1章)

第1章. 新たな森林管理システムの構築 (毎年のテーマ章)

我が国の人工林面積約1,000万haは、その半数以上が主伐期を迎えるなど資源は充実している。一方で、丸太の供給量は成長量の4割以下の水準となっていて、資源の循環利用がなされているとは言い難い状況にある。また、森林所有者の多くは小規模零細で経営規模を拡大する意欲は低く、積極的経営を期待できない中で、意欲と能力のある林業経営者に森林の経営管理を集積・集約化するための新たな仕組みの構築が求められています。このため、我が国と比較的類似した地形や森林所有規模等の条件を有しながら、欧州の林業国として各地に製材品を輸出しているオーストリアと比較しながら、課題の解決策を検討しています。林業の成長産業化と森林資源の適切な管理、意欲と能力のある林業経営者への森林の経営管理の集積、所有者不明森林等集積していくうえでの条件整備など図ったうえで、川上と川下の連携強化が必要であると述べています。

※事例紹介では、P94 金山町SK、P150 協和木材、P156 シェルターが掲載されている。

8 8月以降の行事予定

8月1日	グリーンクラブ例会 (寒河江市)	専務
8月2日	バイオマス事業ヒアリング (山形市)	専務
8月24日	山形県木産協役員会 (酒田市)	理事長・他役員
9月18日	全国木材組合連合会東北支部会議 (南陽市)	理事長・専務
8月11-16日	木材産業協同組合夏季休暇 (事務所閉所)	

9 日本百名山シリーズ紹介 (富士山)

日本の最高地点富士山剣ヶ峰3,776mは、日本人なら一度は登ってみたい山ではないだろうか。山頂には富士山測候所があり、その上に20年前までは大型のレーダードームがありました。石原裕次郎の「富士山頂」の映画を見た方も多いのでは。今や登山ブームとインバウンドで、老若男女多国籍軍が列なしてその山頂を目指しています。5合目の吉田口駐車場は言葉だけ聞いているとほぼ海外です。そこから山頂まで約6~7時間ですが、通常は8合目あたりに宿泊し、朝2時過ぎに宿を出発し、山頂でご来光を見るのが一般的コースです。若者は弾丸登山と言われている早朝に5合目を出発し、登頂後夕方まで5合目に戻る輩と夜5合目に着いて夜通し歩いて山頂でご来光を見る輩の二つの強行軍です。近年は、ものすごい混雑で8合目上部は数珠つなぎで追い越しもできず、1歩1歩、歩幅分しか進まず、逆にゆっくりなので誰でも登れる感じがします。普通に登れる期間は7月中旬から8月下旬までで、それ以外はアルプス登山と同様の装備が必要となり、注意が必要。シーズン中は、防寒着と雨具、帽子、登山靴があれば、山小屋宿泊で十分気軽に登れますが、悪天候時は3km級の自然の猛威があるので快晴時にアタックしてほしいと思います。



10 県からのお知らせ（林業振興課木材産業振興担当）

山形県産木材で施設の内装木質化 を行う民間事業者を募集します！

～平成30年度「やまがたの木」民間施設利用拡大事業のお知らせ～

**H30
新規事業**



**「県産木材を使用して」民間事業者が取り
組む内装木質化等の費用を補助します！**

【対 象】

商業施設を除く民間施設（一般住宅等は対象外とします）で、内装木質化及び内装木質化と一緒に椅子や机等の木製品を導入するもの

【要 件】

- ① 県産木材を使用し、多くの県民が利用するなど、県産木材の普及啓発効果の高い施設であること
- ② 他の機関から同種の補助金等を受ける場合、交付対象として重複していないこと
- ③ 平成31年3月末日までに事業が完了する計画となっていること etc…

＜こんな施設が対象です＞幼稚園・保育園、病院・福祉施設等

※応募があった施設の中から審査・選考を経て決定します。

【募 集】

期間：平成30年7月17日（火）

～**9月14日（金）（必着）**～

方法：農林水産部林業振興課に
提出書類を郵送 or 持参

【補助対象経費】

対象経費の2分の1以内

（100万円が上限）

木質化に係る材料費・
工事費、木製品購入費等

【問合せ先】山形県農林水産部林業振興課木材産業振興担当

TEL：023-630-2527

＜詳しくは下記URLから公募要領をご覧ください＞

<http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/140023/>

11 木質バイオマスの証明のためのガイドラインに基づく報告

平成29年度合法性・持続可能性の証明された

木材・木材製品の取扱実績報告

期 間 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

業種		木材・木材製品の取扱量(総数)		うち合法性等が証明されたもの		認定事業者数	
		入荷量 m3	出荷量 m3	入荷量 m3	出荷量 m3	主	副
	素材生産業	145,189	87,002	135,543	72,615	25	(3)
	素材流通業	15,335	14,576	15,162	14,409	4	(1)
木材加工業	製紙チップ	55,617	71,766	47,840	66,448	4	(2)
	製材	131,222	77,351	119,201	60,262	47	(15)
	合板	1,720	1,692	0	62		
	集成材	4,040	5,070	4,040	5,070		
	木質ボード	0	0	0	0		
	その他	2,422	11,174	1,707	6,431		
木材流通業	製材	59,629	57,359	28,573	21,736	38	(38)
	合板・木質ボード類	8,258	8,260	3,255	2,353		
	集成材	7,525	7,376	4,352	4,140		
	その他(坑木)	1,500	0	0	0		
	その他(プレカット部材)	15,390	14,819	6,909	576	4	
	その他(木質バイオマス)発電	177,961	112,656	177,961	112,656	3	(17)
	その他(木質バイオマス)熱利用	10,299	16,682	4,500	9,394		
	計	636,107	485,783	549,043	376,152	125	(76)

平成30年8月1日

現在

昨年度の報告は125社。

団体会員数	157	認定事業者数(会員)	126
認定事業者数	129	認定事業者数 会員外	1

- ・「発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者認定実施要領」に基づき、認定団体は、認定した事業者の名称、代表者氏名、住所、団体認定番号、認定年月日等の公表。
(木産協ホームページに掲載中)
- ・認定実施要領に基づき、認定団体は認定事業者から、前年度分の木質バイオマスの取扱実績の報告を受け、取りまとめた概要を公表。
(木産協たより8月号で取扱実績を公表中)

12 (国研)森林総合研究所東北支所からのお知らせ

地域再生シンポジウム2018 in 山形

平成30年9月13日(木)・14日(金)

持続的な **広葉樹** 利用による **地域再生**
 ～ **付加価値を高めて** 未利用資源 を活かす ～

1日目 どなたでも参加できます
 参加費無料・参加申込8月27日まで **会場 置賜総合文化センター**
9月13日(木) 13:00～17:00 (米沢市金池3-1-14)

講演 (各20分)

- ・広葉樹林の持続的生産にかかわる研究
清和研二 (東北大学 教授)
- ・広葉樹材の利用
天野智将 (森林総合研究所東北支所 森林資源管理研究グループ長)

**報告** (各20分)

- ・ブナ林の資源評価と活用のためのネットワーク－新潟県の事例－
紙谷智彦 (新潟大学 名誉教授)
- ・国産広葉樹と市場をつなぐ持続可能なものづくり
佐々木一弘 (オークヴィレッジ株式会社 取締役 家具クラフト事業部長)
- ・近畿圏の中山間地における広葉樹利用について
山下直子 (森林総合研究所関西支所森林生態研究グループ主任研究員)
- ・山形県における新たな広葉樹利用の動きと課題
佐藤恒治 (国土防災技術山形支店 参事)

**パネルディスカッション** (60分)

- ・広葉樹の適正な管理と資源の利用拡大に向けて

モデレータ 田端雅進 (森林総研東北支所・産学官民連携推進調整監)
 パネリスト 清和研二・紙谷智彦・天野智将・佐々木一弘・
 山下直子・佐藤恒治

主催：(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所、国立大学法人 東北大学大学院農学研究科
 共催：広葉樹を暮らしに活かす山形の会、山形県広葉樹利用拡大協議会
 後援：山形県、山形県木材産業協同組合、置賜林業推進協議会、日本林業技士会山形県支部

★問い合わせ先：(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所東北支所 田端雅進 電話：019-648-3950

13 6月期の住宅着工状況

平成30年6月期の県内新設住宅着工戸数は674戸となり、対前月比155.7%、対前年同月比104.2%、前年累計比129.5%となった。地域別で山形市、東根市、米沢市、鶴岡市、酒田市が伸びている。木造在来の貸家が伸び、木造率は今月80.9%となっている。

1 県内新設住宅着工戸数(平成30年6月)

(単位:戸)

年月	総数	利用関係別				資金別		木造住宅		木造内訳		
		持家	貸家	給与住宅	分譲住宅	民間	その他	戸数	木造率	在来軸組	プレハブ	2×4
23年	4,336	3,001	1,100	8	227	3,903	333	3,615	83.4%	2,778	121	716
24年	4,716	3,086	1,273	61	296	4,468	248	3,917	83.1%	2,940	156	821
25年	5,323	3,543	1,372	21	387	5,136	187	4,515	84.8%	3,453	152	910
26年	4,550	2,529	1,505	83	437	4,335	215	3,797	83.4%	2,752	106	939
27年	5,403	3,076	1,721	15	591	5,338	65	4,575	84.7%	3,138	130	1,307
28年	5,675	3,046	1,930	16	683	5,592	83	4,875	85.9%	3,370	109	1,396
29年	5,516	2,976	1,837	50	653	5,473	43	4,661	84.5%	3,366	98	1,197
6月	647	320	266	0	61	637	10	520	80.4%	325	8	187
29.1~6月	2,396	1,347	675	40	334	2,376	20	2,051	85.6%	1,450	42	559
7月	528	322	152	3	51	527	1	489	92.6%	371	12	106
8月	561	284	225	1	51	548	13	483	86.1%	358	13	112
9月	581	299	216	1	65	579	2	465	80.0%	330	6	129
10月	537	236	246	2	53	535	2	394	73.4%	279	8	107
11月	456	261	151	2	42	453	3	387	84.9%	310	9	68
12月	457	227	172	1	57	455	2	392	85.8%	268	8	116
30.1月	358	139	170	2	47	356	2	316	88.3%	183	4	129
2月	379	160	163	1	55	378	1	300	79.2%	205	5	90
3月	535	217	186	11	121	535	0	392	73.3%	219	9	164
4月	723	310	371	3	39	468	255	434	60.0%	318	11	105
5月	433	239	144	4	46	426	7	368	85.0%	248	7	113
6月	674	366	247	1	60	674	0	545	80.9%	389	14	142
対前月比	155.7%	153.1%	171.5%	25.0%	130.4%	158.2%	0.0%	148.1%	-	156.9%	200.0%	125.7%
対前年同月比	104.2%	114.4%	92.9%	-	98.4%	105.8%	0.0%	104.8%	-	119.7%	175.0%	75.9%
29.1~当月計	2,396	1,347	675	40	334	2,376	20	2,051	85.6%	1,450	42	559
30.1~当月計	3,102	1,431	1,281	22	368	2,837	265	2,355	75.9%	1,562	50	743
対累計前年比	129.5%	106.2%	189.8%	55.0%	110.2%	119.4%	1325.0%	114.8%	-	107.7%	119.0%	132.9%

2 地域別新設住宅着工戸数(平成30年6月)

(単位:戸)

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
県計	674	3,102	104.2%	129.5%	2,355
山形市	288	1,010	192.0%	177.5%	645
上山市	6	48	100.0%	98.0%	34
天童市	19	164	33.9%	701.0%	150
山辺町	11	33	100.0%	132.0%	33
中山町	4	11	80.0%	91.7%	10
東南村山	328	1,266	143.9%	142.4%	872
寒河江市	14	134	45.2%	141.1%	132
河北町	6	31	66.7%	88.6%	31
西川町	1	6	100.0%	200.0%	5
朝日町	2	3	-	150.0%	3
大江町	2	10	66.7%	76.9%	9
西村山郡	25	184	56.8%	124.3%	180
村山市	7	33	116.7%	137.5%	31
東根市	54	184	110.2%	76.3%	174
尾花沢市	3	17	150.0%	42.5%	17
大石田町	2	3	200.0%	60.0%	3
北村山	66	237	113.8%	76.5%	225
村山地域	419	1,687	127.0%	125.2%	1,277
新庄市	17	79	63.0%	131.7%	78
金山町	1	3	-	300.0%	3
最上町	2	7	100.0%	77.8%	5
舟形町	0	3	0.0%	75.0%	3
真室川町	0	0	0.0%	0.0%	0

市町村	着工数	累計	前年比	累計比	木造累計
大蔵村	2	4	-	400.0%	3
鮭川村	0	2	0.0%	100.0%	2
戸沢村	0	3	-	0.0%	3
最上地域	22	101	55.0%	117.4%	97
米沢市	80	500	98.8%	181.8%	239
南陽市	6	41	37.5%	45.1%	40
高島町	11	46	157.1%	158.6%	44
川西町	1	20	25.0%	153.8%	11
東南置賜	98	607	90.7%	148.8%	334
長井市	5	61	125.0%	122.0%	60
小国町	0	1	0.0%	20.0%	1
白鷹町	6	18	75.0%	94.7%	18
飯豊町	1	8	33.3%	114.3%	7
西置賜	12	88	75.0%	108.6%	86
置賜地域	110	695	88.7%	142.1%	420
鶴岡市	40	248	121.2%	125.3%	237
三川町	6	31	120.0%	238.5%	29
庄内町	5	46	125.0%	170.4%	39
田川	51	325	121.4%	136.6%	305
酒田市	67	274	61.5%	119.7%	237
遊佐町	5	20	250.0%	285.7%	19
飽海	72	294	64.9%	124.6%	256
庄内地域	123	619	80.4%	130.6%	561

注: 累計は平成30年1月~

